

書籍仕入れご担当者 様【ジャンル/歴史・近現代史・玄洋社・アジア主義】

平素より、ご高配を賜り深く御礼申し上げます。『玄洋社とは何者か』を、好評につき増刷することとなりました。ぜひ、関連コーナーにてご展開いただきますようお願い申し上げます。

FAX: 092-726-9886

玄洋社とは何者か

増刷
1月20日 出来

『勝海舟から始まる近代日本』
(11月刊)
と合わせて補充をお願いします

浦辺 登◎著

定価 2000円+税

46判・248頁 ISBN 978-4-86329-154-6 C0021

近代史の穴・玄洋社の素顔に迫る

近代史の重要な局面には、必ず玄洋社の活動がある。玄洋社を正確に評価できなければ、近代史の流れを正確につかむことはできない。

自由民権運動、日清・日露戦争、孫文の辛亥革命、昭和維新事件、鉄道敷設と関門海底トンネル、東京オリンピックなど、具体的な資料、日記、関係者への聞きとり、海外からの研究者らとの交流を通して、従前の玄洋社に対する評価を是正することをめざしてまとめられた一冊。

戦後、GHQによって「戦争犯罪の一翼をになったテロリスト集団」と決めつけられた、その虚像を、「玄洋社は自由民権団体であった」という実像へと修正していく。

〈編者の横顔〉 浦辺 登 (うらべ・のぼる)

昭和31年、福岡県生まれ。福岡大学卒。日本近現代史を中心に研究、執筆、講演、史跡案内を続けている。著書に『太宰府天満宮の定遠館—遠の朝廷から日清戦争まで』『霊園から見た近代日本』『東京の片隅から見た近代日本』『アジア独立と東京五輪—「ガネホ」とアジア主義』『勝海舟から始まる近代日本』(以上、弦書房)。

・目次から・

- I 玄洋社は相互扶助団体であった
- II 玄洋社は自由民権団体であった
幕末から玄洋社発足まで/自由民権運動、そしてアジアとの関わり/日清日露戦争との関わり/朝鮮半島との関わり
- III アジア主義を旗印として
孫文の革命支援と東洋学館/明治・大正・昭和の重要事件と玄洋社
- IV 玄洋社解散
戦後復興から東京オリンピックまで/百年の計は人を育てるにあり

◎玄洋社をめぐる年表

付録 歴代の玄洋社社長/代表的玄洋社員/玄洋社の社友/玄洋社を知る主な文献

【FAX: 092-726-9886】

書店・帖合 ご担当者様	流通センター 取扱品	冊	玄洋社とは何者か 【2刷】	浦辺 登 著	定価 2000円+税 ISBN978-4-86329-154-6	
		冊	勝海舟から始まる近代日本	浦辺 登 著	定価 2000円+税 ISBN 978-4-86329-197-3	
		冊	霊園から見た近代日本	荒俣宏氏 激賞! 朝日新聞書評にて	浦辺 登 著	定価 2000円+税 ISBN 978-4-86329-072-3
		冊	東京の片隅から見た近代日本	浦辺 登 著	定価 1800円+税 ISBN 978-4-86329-086-0	
	ご注文日	様	弦書房 —Genshobo—	〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com		